

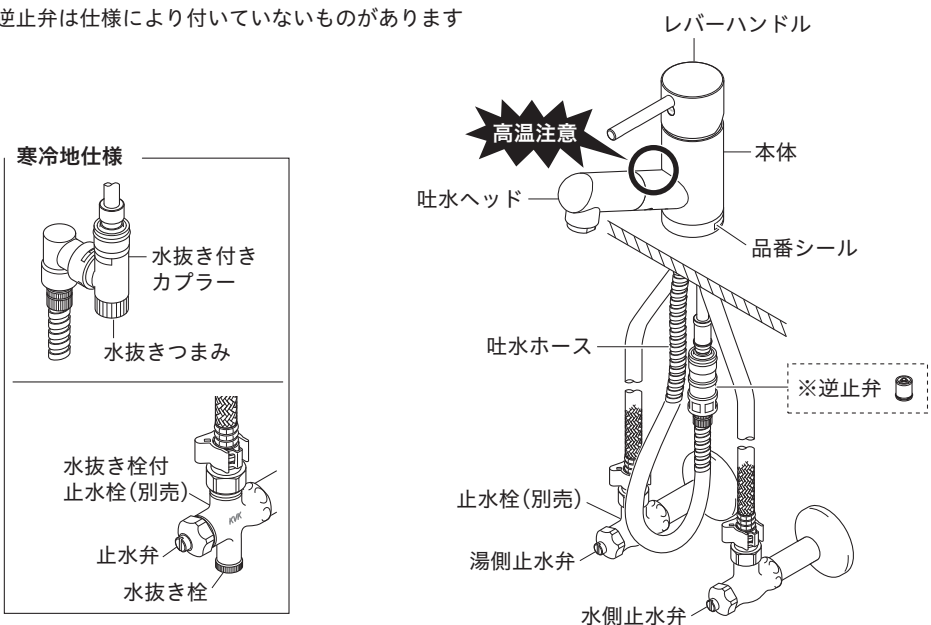
ご使用の前に / ご使用方法 1

給湯器の使用上のご注意

- 給湯器の給湯温度は、安全のため60℃以下の設定をおすすめします。
- 吐水量が少ない場合、給湯器が着火しないことがあります。(瞬間型の場合)

各部の名称

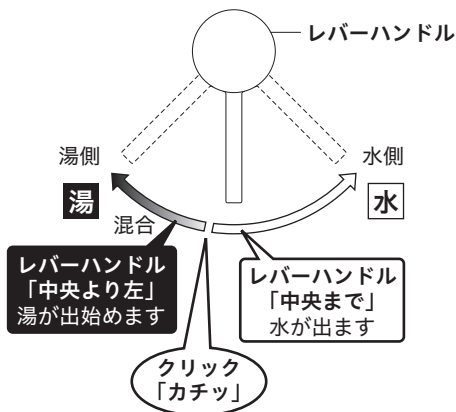
※逆止弁は仕様により付いていないものがあります



温度の調節方法

レバーハンドルを回し、右側いっぱいから中央まで水が出ます。中央より左へ回すと次第に湯が出始めます。湯が出始める位置にクリックを設けています。(無駄なお湯を使わないためのご提案です。)

【△警告】湯水を使うときは、低温から少しずつ吐水させて適温にし、手で適温かどうか確かめてから吐水してください。確かめないと、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

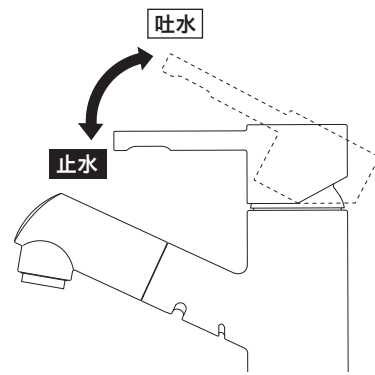
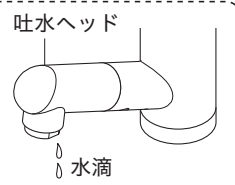


出し止め方法

レバーハンドルを上げると吐水、下いっぱいまで下げると止水します。

【△注意】レバーハンドルは無理な力を加えずゆっくり操作してください。急な操作や無理な力での操作はウォーターハンマー(水撃)音が発生し、配管からの漏水により家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

止水時の水滴について
止水した時、吐水ヘッドから水滴が落ちることがありますが、これは吐水ホース内の残留水です。異常ではありません。



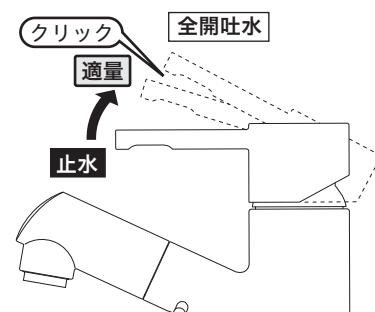
量の調節方法

レバーハンドルを上へ上げるほど流量が増し、クリックを超えると全開吐水になります。

ふだんは適量位置(クリック手前)で使用し、たくさんの量を使用する場合は全開吐水(クリックを超えた位置)でご使用ください。(必要以上の水を使わないためのご提案です。)

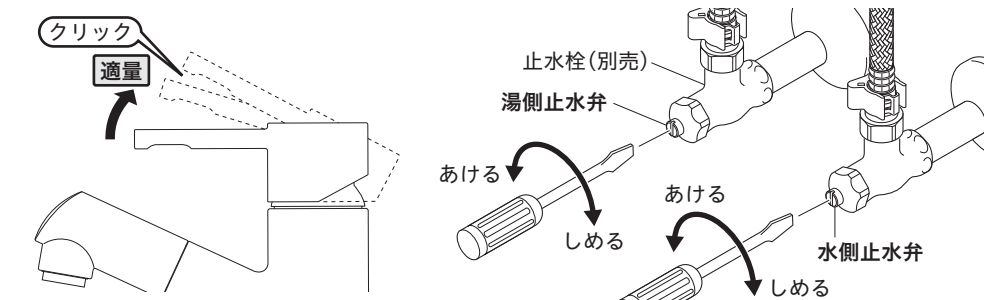
※水圧が低い場合、適量位置(クリック手前)では吐水量が少なく吐水が乱れたり、湯側にしても給湯器が着火しない(低温しか出ない)ことがあります。その場合は、全開吐水の位置でご使用ください。

※適量から全開吐水(全開吐水から適量)と操作する際、吐水温度が多少変動することがありますが異常ではありません。



止水栓による流量の調節方法(止水栓は本製品には同梱されていません。別売です)

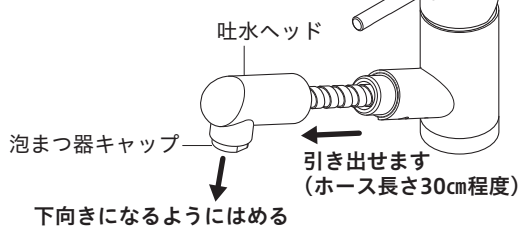
止水栓による流量の調節方法は下記の方法で行ってください。レバーハンドルのクリック手前で適量(湯側・水側それぞれが5L/min程度)になるように止水弁で調節します。水圧が低く、クリック手前で適量が得られない場合は、止水弁を全開にしてください。



ご使用方法 2

吐水ヘッドの使用法

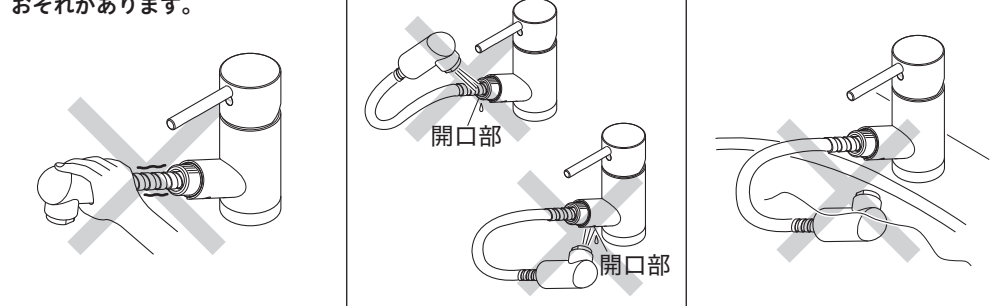
吐水ヘッドは引き出して使えます。使用後は泡まつ器キャップが下向きになるようにはめ込んでください。



【△注意】吐水ヘッドを引き出しすぎないでください。ホースが戻しにくくなったり、ホース損傷により漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

【△注意】本体の開口部へ直接湯水をかけないでください。漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

【△注意】吐水ヘッドやホースを水に浸けたまま放置しないでください。水が逆流するおそれがあります。



【△注意】吐水ヘッドは吐水口にはめた状態で回転させないでください。(吐水ヘッドを吐水口にはめた状態では回転しません。)無理に回転させようとすると器具が破損し、けがをしたり、漏水し家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。吐水の位置(向き)を変えたい場合は、ヘッドを引き出して、吐水の位置(向き)を変えた状態で差し込んでください。

凍結予防のしかた 1

- 水栓が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。凍結による部品の破損は、保証期間内でも有料修理となります。
- 凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。なお、氷点下になる場合は、凍結予防の処置をしてください。
- 【△警告】解氷機を使用する際は、水栓(給水・給湯管含む)には通電しないでください。通電すると水栓や給水・給湯管発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 【△注意】凍結が予想される際は、下記の手順に従って水栓金具の水抜きを行ってください。怠りますと、凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

凍結予防のしかた 2

一般地仕様水栓の場合

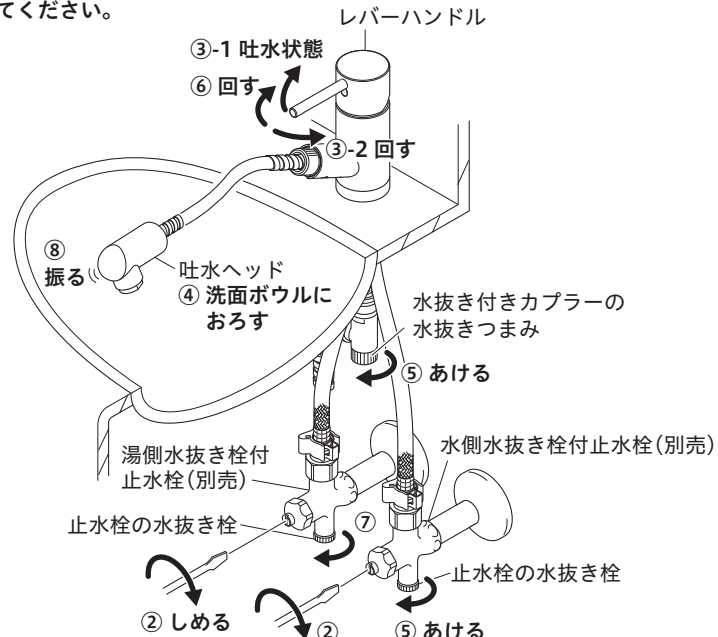
凍結が予想される場所でご使用になる場合は、以下の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- ・水栓より少量の水を出しておきます。
- ・配管部などに布を巻きます。

寒冷地仕様水栓の場合

器具のみ水抜き (配管に水抜き栓がない場合)	配管からの水抜き (配管に水抜き栓がある場合)	操作
	①	配管の水抜き栓を操作します。(給水元の水抜き栓の操作)
②		湯水の止水栓の止水弁(2か所)を締めます。
③	③	レバーハンドル全開状態で、水側いっぱいに戻します。
④	④	吐水ヘッドを洗面ボウルに下ろします。
⑤	⑤	水抜き付きカプラーの水抜きつまみと、水側の止水栓の水抜き栓をあけて水を抜きます。
⑥	⑥	レバーハンドル全開状態のまま、湯側いっぱいに戻します。
⑦	⑦	湯側の止水栓の水抜き栓をあけて水を抜きます。
⑧	⑧	吐水ヘッドを振って中の水を抜きます。

【△警告】湯側の止水栓の中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。



水抜き後 通水を再開する

【お願い】上記と逆の手順で操作して通水を再開してください。必ず水抜きつまみと水抜き栓がしまっていることを確認して、レバーハンドルを下げて(止水状態)から通水してください。通水を再開しても水が出ない場合……レバーハンドルを上げて(吐水状態)、しばらくお待ちください。これは水栓内に残った水滴が凍りついて起こる現象です。異常ではありません。

日常のお手入れ・保守

お手入れ方法

【軽い汚れの場合】

汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてから、乾いた布で拭き取ります。

【ひどい汚れの場合】

中性洗剤をぬるま湯でうすめて、やわらかい布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で拭き取ります。



【使ってはいけないもの】

水栓には樹脂部品が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・アルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。金たわし・みがき粉等は外観にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。

【お願い】メラミンフォームを使用する場合は、文字やマーク等印刷部分をこすらないようにしてください。

泡まつ器の清掃方法

吐水ヘッドの泡まつ器にゴミ等がたまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりします。また、温度調節が容易にできなくなる場合もありますので、定期的に清掃してください。

- 吐水ヘッドの泡まつ器キャップをはずして、泡まつ器を取り出します。
- 泡まつ器をブラシで水洗いします。



清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

7 ページ

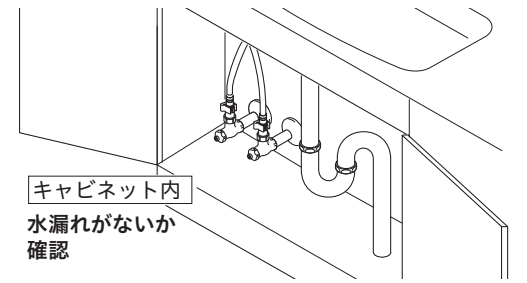
定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

配管まわりの水漏れ(1か月に1回程度)

【△注意】

配管まわり(キャビネット内)の水漏れがないか確認してください。部品の劣化・摩耗などによって生じる漏水で、家財などを濡らす財産損害発生を未然に防止するために、配管まわりの点検を行ってください。

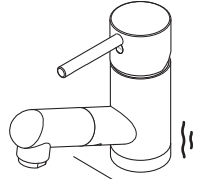


キャビネット内
水漏れがないか
確認

水栓取り付け部のがたつき(1か月に1回程度)

【△注意】

水栓取り付け部のがたつきがないか確認してください。がたついたままお使いになると、配管に負担がかかり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



がたつきがないか確認

8 ページ

定期的な部品交換 (部品は水栓の種類によって異なります)

使用年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
お客様による日常のお手入れ・点検	○											
消耗部品の交換 (パッキン等) [有料]	○											
摩耗劣化部品の交換 (シャワーホース等) [有料]	○											
取付日	↑											
買い替え ご検討	○											
部品の交換	部品が摩耗劣化すると水漏れ等の原因になりますので、交換が必要です。 ・摩耗劣化部品の例 (水栓の種類によって異なります) 例) カートリッジ、シャワーヘッド、シャワーホース、逆止弁等											
【△注意】	中でもより安全のため、逆止弁は早めの点検・交換を行ってください。逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流するおそれがあります。(逆止弁は仕様により付いていないものがあります。逆止弁の位置は「各部の名称」をご覧ください) 部品交換のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。											
補修用部品の供給期間	この製品の補修用部品(機能維持に不可欠な部品)の供給期間は製造中止後10年です。											

9 ページ

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページおよび項目
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	4 ページ 「止水栓による流量の調節方法」
	泡まつ器にゴミ等がたまっていますか	泡まつ器を清掃する	7 ページ 「泡まつ器の清掃方法」
	ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯器の能力を適正能力にセットする	—
	泡まつ器は凍っていませんか	泡まつ器にぬるま湯をかける	—
高温しか出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	4 ページ 「止水栓による流量の調節方法」
	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	4 ページ 「止水栓による流量の調節方法」
低温しか出ない	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁で湯と水が同じになるように調節する	4 ページ 「止水栓による流量の調節方法」
	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
温度調節がうまくできない	泡まつ器にゴミ等がたまっていますか	泡まつ器を清掃する	7 ページ 「泡まつ器の清掃方法」
	泡まつ器にゴミ等がたまっていますか	泡まつ器を清掃する	7 ページ 「泡まつ器の清掃方法」
吐水が飛び散る	泡まつ器にゴミ等がたまっていますか	泡まつ器を清掃する	7 ページ 「泡まつ器の清掃方法」
クリック手前で使用すると吐水が乱れる・湯側にしても低温しか出ない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	4 ページ 「量の調節方法」 「止水栓による流量の調節方法」

【水栓本体のメンテナンスをする場合】

【△注意】・修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。
・メンテナンスは、専用工具G26(別売)を使用して本体を保持しながら行ってください。
吐水ヘッドや吐水口やレバーハンドルを持ってはずしますと破損し、漏水のおそれがありますので、これらは持たないでください。

10 ページ

404636-01